

子どもの発達段階と保護者のかかわり方

小学1～4年生

※全ての子どもに当てはまる訳ではありません。
成長には個人差がありますので、焦らずに・・・

ポイント

今は
こんな時期

大切にしたいこと

保護者のかかわり方

- ・大人のすることを見て自分の行動を決めます。
- ・色々なことに興味や関心を持ちます。
- ・自分の欲求がどんどんふくらんできます。
- ・自己中心的な考えを通そうとします。
- ・遊びを通じて社会のルールを身につけます。
- ・自分のからだや身のまわりの具体的なものを使って遊びます。

- ・身のまわりのことは、自分でできるように促しましょう。
- ・認められたい気持ちが強いので、良い行いは、保護者が行為を褒めたり、認めたりしましょう。
- ・子どもの話したいことをたくさん聞きましょう。

- ・知的な発達がいちじるしい時期です。
- ・行動範囲が広がります。
- ・口答えや反抗が少しずつ見られます。
- ・男女についての意識が芽生えます。
- ・善悪の判断や規範意識の基礎ができます。
- ・他者に共感し、我慢や分け合い、交代などができます。
- ・まわりの関係性についてわかるようになります。

- ・理屈を言っても反抗するときは、順をおって納得させながら話し合いましょう。
- ・親の感情によって、対応を変えないようにしましょう。
- ・子どもが悩んでいるときは、相談に乗り、認めたり褒めたりしながら方向を示しましょう。
- ・他の子ども（兄弟姉妹や友だち）と比べないで、本人のがんばりを認めましょう。

〈何でも相談できる親子関係をつくりましょう〉

親の愛情が伝わると、子どもは安心感が得られます。下を参考にしてみてください。

- ・リスニング（言葉をさえぎらずに、顔を見て聞く）
- ・（思春期まで）タッチング（愛おしく撫でる、抱きしめる、手を繋ぐ、そばにいる）

※嫌がる場合は、その子に合わせて

こういうこともありますよ

子どものトラブルがあるとドキッとしますよね。そんなときは、色々な人から意見を聞きましょう。

子どもだけに聞くと、自分にとって都合のいいことだけを言うことがあります。これは、「叱られたくない」という思いや、まだ相手の立場から物事を考えるのが難しいからです。落ち着いて情報を集めましょう。

